

妙安寺だより 390

初七日から七七日(四十九日)、その後の法事について③

先月号までで、初七日から七七日まででした。今月はその後についてです。

⑧ 王・

ここに至ると、平等王から生前のをめられ、「、かなる」とはずかしめられる。

「頼みとする物は、での追善だけであるから、えて追善供養を行ない、のを助けるべきである。」と説かれています。

⑨一周忌 王・

亡くなって1年後に行なう法要を指す。二回目の命日を迎えますが、「二回忌」とは呼びません。

ここに至ると、旅路の苦しさに涙を流すばかりである。

ここまでに娑婆での追善がなされていないと、地獄に墜ちるか次の王の所へ行く事となる。

⑩三回忌 王・

亡くなって2年後の法要を指し、三回目の命日を迎えるので「三回忌」といいます。「二回忌」

とは呼びません。

最後の審判を下される所で、ここまでに娑婆世界での追善供養がなされれば、成仏することも

きるし、人道界・天道界に行く事もできる。無い場合は地獄へ遣わされる。

以上、3号にわたって、初七日から三回忌までの意味を、『十王讃歎鈔』という日蓮聖人のご文章

を、簡単に説明いたしました。要は「追善供養は大事ですよ」ということかと思えます。

***平成29年 2月 5日(日) 午前11時 お焚き上げ**

午後 1時 星祭り・方除け、節分法要

***平成29年 2月16日(木) 午後1時 永代追善供養・歴代上人供養**

釈尊涅槃会・宗祖御降誕会

***お札の郵送を希望される方は送料五百円を添えて、お申し込みください。**

***2月中は17時に閉門し、閉門中は番犬を放しています。**